



▼自身の将来像について同級生らとグループワークを行う甲佐中学生たち



生徒たちはグループごとに分かれ、同公益法人の職員などへ、中学生の時のような大人になりたいと考えていたのかなどについて質問。生徒同士でも「夢」や「仕事」についての意見交換を行うことで、自身の将来像や目標を明確にし、それぞれの夢の実現に向けての行動計画であるアクションプランを策定しました。

自身の将来を見つめよう

甲佐中でキャリア教育プログラムを実施

7月5日（金）甲佐中学校（服部起明校長241人）で、キャリア教育プログラムが行われました。
同プログラムは、大人や同級生とのグループワークを通して、「夢・未来」「仕事・職業」の2つの観点から自身や他人の価値観について理解し、自身の将来像に向けての進路などについて考えるきっかけにしようとする目的に、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が主催。参加した同中3年生約60人が自身の将来や夢について見つめました。

青少年の健全な育成を図る

青少年健全育成町民会議総会

6月22日（土）町生涯学習センターで、甲佐町青少年健全育成町民会議の令和元年度総会が開催されました。

同会議（奥名克美会長）は、本町の未来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に、昭和60年に発足。キャンプなどのイベントや教育パトロール、あいさつ運動などの青少年健全育成活動に取り組んでいます。

総会後には、熊本県里親協議会の宮津美光さんを講師に迎え「社会が支える里親制度」と題して講演会を開催しました。



▲青少年健全育成会議総会であいさつする奥名会長



▲協力隊として地域活性化に取り組む岡本さん（左）

協力隊でまちづくりを

岡本久子さんが地域おこし協力隊に着任

7月1日（月）町長室で甲佐町地域おこし協力隊として岡本久子さん（熊本市出身・緑町区）に委嘱状が交付されました。同隊は、地域活性化を目的として、都市住民など地域外の人材を受け入れる制度。
今後、岡本さんは、空き家利活用や緑川などの地域資源を活用した体験メニューの開発、地元食材を活用したメニュー開発などを行いながら、本町の魅力についての情報発信などの活動に取り組む予定です。
岡本さんは「これから甲佐町の魅力をたくさん発信していきたいです」と今後の抱負を語りました。

明るい社会を目指して

第69回社会を明るくする運動

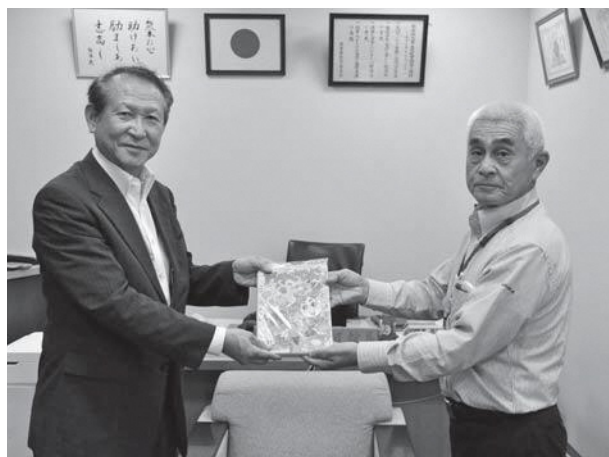
7月8日（月）郡内で「第69回社会を明るくする運動」が行われました。

上益城地区保護司会（赤星良一会長）が主催。同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、明るい社会を築くことを目的として、全国で展開しています。7月の運動強調月間に当たり、同会が郡内4町を巡回し啓発活動を行いました。

本町を訪れた同会の一行は、町役場を表敬訪問し、奥名克美町長に内閣総理大臣および県知事のメッセージを伝達しました。



▲メッセージを奥名町長に伝達した保護司の皆さん



▲蔵田町教育長に食農教育雑誌を手渡す本郷常務（右）

農業への理解を深めよう

上益城農業協同組合が児童に食農教育雑誌を贈呈

7月3日（水）町教育長室で、食農教育雑誌『ちやぐりん』の贈呈が行われました。

同誌は、（一社）家の光協会が発行する月刊誌で、農業の大切さや自然との関わり、共生の役割などについて次代を担う子どもたちに理解を深めてもらうことを目的に発行されています。

上益城農業協同組合（梶原哲代表理事組合長）の本郷博行常務から、町内4小学校の4年生104人分が蔵田勇治町教育長に贈呈されました。

蔵田町教育長は「毎年いただいております。ありがたいです。有意義に活用していきたいです」と感謝を述べました。

バスケットボールで楽しく交流

甲佐小に屋外用バスケットゴールなどが寄贈



▲寄贈された屋外用バスケットゴールとボールで、プロバスケットボールチームを支えるスタッフらと交流を行った児童たち

7月15日（月）甲佐小学校（永瀬善久校長205人）にプロバスケットボールBリーグの熊本ヴォルターズから、バスケットボールの屋外用ゴール2台とバスケットボール5球が寄贈されました。

同小の屋外用バスケットゴールは、破損して使用できない状態になっており、これを見た同小の教員がどうにかできないかと同チームに相談。

熊本地震で被災するなどして体育館などが使えず、バスケットボールができない小学校などに屋外用のバスケットゴールを贈る取り組みを行っていた同チームが、屋外用ゴールを同小へ寄贈しました。

交流会に参加した児童ら約15人は、設置を終えた同チームのスタッフらとの交流を通して、バスケットボールの楽しさや将来の夢を持つことの大切さを学びました。交流会を終えたスタッフの1人は「この活動を通して、子どもたちに夢を与えることができたうれしいです」と笑顔で話しました。